

令和 7 年度 岡山県立勝間田高等学校 部活動に係る活動方針

1 本校に設置する部活動

- 【運動部】(11 うち男子 11、女子 9) 陸上競技 (男女)、卓球 (男女)、バレーボール (男女)、ソフトテニス (男女)、軟式野球 (男子)、山岳 (男女)、剣道 (男女)、サッカー (男子)、柔道 (男女)、弓道 (男女)、なぎなた (男女)
- 【文化部】(4) 総合芸術 (美術・書道)、吹奏楽、郷土芸能、自動車

2 目 標

- (1) 異年齢集団による自主的活動を通じて健全な心身を育み、社会に主体的に参加する態度を育む。
- (2) 各自の適性や興味・関心に応じた運動や文化的活動に親しむことで、学習意欲の向上や責任感、協調性、コミュニケーション力等を養う。

3 部活動の運営について (校内での取り決め事項等)

- (1) 休養日
- ・原則、毎週土日のどちらか一日は休養日とする。また平日のうち少なくとも一日は休養日とするよう努める。
 - ・試合等によって土日とも活動する場合は、あらかじめその前後の週に休養日を振り替える。
- (2) 活動時間
- ・平日、休業日とも 2～3 時間程度とする。(準備等は含めない)
 - ・最終下校時刻は、4 月～9 月は 1 8 時 3 0 分、1 0 月～3 月は 1 7 時 3 0 分とする。
 - ・考查期間中は原則として活動を中止する。ただし、大会前の練習は職員会議で承認を得て行うことができる。成績不振者の活動については十分配慮する。
 - ・長期休業中の活動計画は、各学期の終業式までに顧問が作成する。
- (3) 遠征、合宿等
- ・遠征や合宿の実施に当たり、顧問は計画書を提出し校長の許可を得なければならない。
- (4) 大会参加
- ・高体連 (高野連)・高文連主催大会への参加を原則とするが、その他団体による主催大会への参加は、事前に部活動委員会で審議し校長の許可を得る。
- (5) 活動方針、活動計画、活動実績の公表
- ・活動方針、活動計画、活動実績は本校 HP に掲載する。

4 その他

- (1) 体罰・ハラスメント等を根絶するための取組
- ・顧問は生徒の成長を支援し、やる気を引き出す指導に努める。また、いかなる理由でも体罰・ハラスメント等は絶対許されないと認識を持ち、学校全体で体罰・ハラスメント等のない指導を徹底する。
 - ・部活動に係る体罰・ハラスメント等の根絶に関するコンプライアンス研修を年 2 回実施する。
- (2) 顧問会議
- ・定例会議を年度当初に行う。臨時会議は必要に応じて実施する。
 - ・定期的に部長会を行い、校内の取り決めの共有を図る。
- (3) 部費の取扱
- ・生徒からの集金は公費に準ずる (学校徴収金マニュアルに基づく) 取扱とし、適切に管理する。
 - ・決算については、顧問は校長に提出した上で、保護者等にも適切に報告する。
- (4) その他
- ・規律違反等があれば、顧問会議・職員会議で審議して一定期間活動を停止させることがある。
 - ・顧問は年間及び月間部活動計画を作成して適正な活動に留意する。また生徒理解に努め、保護者等にも活動計画や実績を報告し、部活動への理解と協力が得られるように努める。